

将来的には「学校再編」の方向で検討！

義務教育学校！

学年2つ以上の学級！

複式学級回避！

様々な子どもへの配慮

一人も取り残さない

教科担任制

通学への配慮

全員が教育の当事者

教員の働き方改革

身に付けさせたい力？

必要な学びとは？

- ・個別最適・協働的な学び
- ・小中の接続（子どもの視点）
- ・教員の資質向上（研修）
- ・支援が必要な児童生徒への配慮
- ・学校行事等

地域から学ぶ、地域と共に学ぶ

議論内容を住民と共有

- ・部活動の地域移行化
- ・コミュニティ・スクールの充実・発展
- ・地域コミュニティ・防災等の核としての学校

- ・学校への協力体制が高い
- ・子どもの地域への関心が高い
- ・無くなる学校の利活用は？
- ・町づくり全体構想

地域にできること？

地域が望む学校？

学校がなくなると地域の教育力が低下？

子ども・教員・財政の視点

学級編成基準・教員配置

学級規模に関する研究結果

今後数十年の人口推計

適正規模の捉え方

学校統廃合第3ピーク

学校魅力化フォーラム資料

大野町学校編成の経緯、児童生徒数の推計、校舎耐用年数、維持管理費、住民アンケート、シンポ意見 等

	全校人数	1学年人数	1学年学級数	1学級人数	
R13 小学校	591	99	3	33	全校18学級
R13 中学校	439	146	5	29	全校15学級

	全校人数	1学年人数	1学年学級数	1学級人数	
R16 小学校	450	75	3	25	全校18学級
R16 中学校	366	122	4	30	全校12学級

- ひとつの学校に再編したと想定した時の「R13(再編実施予定年)」と「R16」の規模見込み
- ・児童生徒推計から
 - ・1学級35人で換算

参考までに・・・国立教育研究所 平成25～26年度プロジェクト研究
「少人数指導・少人数学級の効果に関する調査研究」報告書
『学級規模が児童生徒の学力に与える影響とその過程』 平成27年3月